

ダンドボロギク

[草本] 《忌避》



ダンドボロギク(左2枚、引用:1)



ベニバナボロギク。

区別のポイント

路傍に生えず、山地の木を切り出した跡などに急速にはびこる。アメリカ原産。

ベニバナボロギク…花は下向きで橙紅色。葉は長楕円形で大きく切れ込む。
ダンドボロギク…花は上向きで黄緑色。葉は披針形で細かく切れ込む

形態 一年草。高さ 0.5 ～ 1.5m。

分布 北海道西部・本州・四国・九州

名前の由来 愛知県の段戸山で発見されたことから。

葉 〈全体〉長さ 10 ～ 20 cm、細長い。

〈付き方〉互生。

〈葉柄〉無柄。

〈基部〉茎を抱く。

〈縁〉不規則な鋸歯。上部に付く葉ほど羽状裂に近くなる。

備考 硝酸成分を含有し、これがメトヘモグロビン症（チアノーゼ）を引き起こす。

出典 1